

「あまみエフエム ディ！ウェイヴ」放送原稿 5月11日（金）放送分

テーマ「奄美歳時記」

あまみエフエム ディ！ウェイヴをお聞きの皆様，おはようございます。県立奄美図書館です。今週のこの時間は，今年度第2回目の，シリーズ「奄美歳時記」をお送りします。

” 柱のきずは おととしの 五月五日の 背くらべ
粽^{ちまき} たべたべ 兄さんが 計ってくれた 背^{せい}のたけ
きのうくらべりゃ 何^{なん}のこと やっと羽織^{はおり}の 紐^{ひも}のたけ～ ”

この歌は海野^{うんの}厚^{あつし} 作詞^{せい}の「背くらべ」です。この歌詞を見ると，柱のきずは「おとし」の5月5日につけたとされていますが，何故「昨年」のきずではないのかという素朴な疑問が生じます。この疑問を解く鍵は，海野の経歴に隠されています。

海野は，静岡県の出身です。7人兄弟の長兄で，旧制静岡中学卒業後，早稲田大学に入学するため，地元の静岡を離れ一人上京しました。実家には3人の妹と3人の弟がいました。中でも一番下の弟は17歳年下で，海野にとって特別に可愛い存在でした。2年間帰省していないが，弟は大きくなっているだろうか，元気に暮らしているだろうか，そんな切ない思いが童謡「背くらべ」の歌詞に込められています。

さて，5月5日は，端午^{たんご}の節句^{せいきう}です。そもそも節句とは1月7日の人日^{じんじつ}，3月3日の上巳^{じょうし}，5月5日の端午^{たんご}，7月7日の七夕^{たなばた}，9月9日の長陽^{ちやうよう}という季節の変わり目に行われた大切な行事でした。端午の節句は，古来中国で邪気を払い健康を祈願する日とされ，野に出て薬草を摘んだり，蓬^{よもぎ}で作った人形を飾ったり，菖蒲酒^{しょうぶ}を飲んだりする風習がありました。

その風習が日本で独自の変化を遂げたのは鎌倉時代の頃です。菖蒲の葉が剣の形を連想させることなどから，端午は男の子の節句とされ，男の子の成長を祝い健康を祈るようになったといわれています。その後，五月人形を飾り，庭前^{にわさき}に鯉のぼりを立てるのが日本での典型的な祝い方で，柏餅^{かしわもち}を食べる風習も日本独自のものです。柏は新芽が出るまで古い葉が落ちないことから「家系が絶えない」縁起物^{えんぎもの}として広まりました。

奄美では端午の節句に鯉のぼりを立てたり，武者人形を飾ったりしません。「菖蒲の節句」ともいい菖蒲又はよもぎを，人の出入りする軒下につるします。よもぎは万病の薬ともいわれるように，悪魔払いや万病を払うという意味です。また，菖蒲は刀になぞらえられています。この日は家々でカシャ餅（バショウやサネンの葉でくるんだ餅）をつくりま
す。アクマキやフチムチ（よもぎもち）をつくる家もあります。そして，菖蒲を風呂に入れて，菖蒲湯につかります。

たばたちあき
田畑千秋さんの著書「奄美の暮らしと儀礼」には，5月5日のことが次のように書か
れています。

「奄美では，ヒキショープ（菖蒲）を軒に挿し，ハンムダラ（赤じそ）で染めたガッキョ
（ラッキョウ）とデヘエヌクワ（^{たけのこ}筍）を必ず食べた。なぜ，そのようなことをしなく
てはならないかというと，次のような話がある。『昔，二人の兄弟がいたそうだ。その兄
弟は鬼に追われて，ほうほうのていで，鬼に^{つか}掴まろうとまでしていた。それで一人はそ
ばにヒキショープが生えていたので，そのヒキショープの中へ，一人は赤じそがあったの
で，その赤じその中におどりこむように逃げたそう。するとヒキショープの臭いで人の
臭いが薄れ，一人は赤じそを鬼が火が燃えていると思って助かったそう。だからほら，
ヒキショープの臭いがするように，ヒキショープをさげ，それからまた赤じその漬け物を
食べるのだよ。』」

さきわらこうしん きんいち
また，^{せつく}崎原恒新・山下欣一さんの著書「沖縄・奄美の歳時習俗」によると，「一般
に男の子の節供という。かけろま島では，この日には菖蒲と桃の花とを戸口に挿し，蓬
を軒に挿す。また墓にゆき桃の花を生けたりした。蓬を入れた餅を作り，先祖棚に供える。
また^{かや}茅の葉やだんちくの葉ににぎりめしを三個包んだガヤマキとかボーマキとかという
ものを作り，神前に供えたり，柱に下げて保存しておき，カゼに当たったときや，山で具
合の悪いときに食べた。」と記述しています。

それぞれの地域で行われている風習から，邪気を払い，健康を祈願する思いの強さを感じ
取ることができます。これらの謂われを次の世代に語り継ぎ，奄美ならではの年中行事
を絶やさないようにしたいものです。

その時に，奄美図書館の図書も参考にさせていただければ幸いです。これまで何気なく見
ていた奄美の行事が，また違って見えてくるかもしれませんよ。

以上，県立奄美図書館でした。